

# リビング・威尔 Living Will

2016年1月 発行 No.160

LWを充実させて  
超高齢社会に備える  
会員の願いが実現する時代を  
一緒に作っていきましょう

理事長 岩尾 総一郎

会員の皆様へ  
写真が語る歩み  
木内みどり インタビュー



一般財団法人  
日本尊厳死協会

Living Will  
No.160

2016年1月1日発行

発行 一般財團法人日本尊厳死協会

編集 協会会報編集部

デザイン 株式会社イーネ

印刷

J.P.ビズメール株式会社

## 出版案内

日本尊厳死協会が会員の皆様にお勧めする必読の書。好評発売中です。

## 人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「？」に答えがあります。

### ▶がんの末期

人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す?

### ▶持続的植物状態

延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら?

### ▶腎不全

「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら?

### ▶救急医療

日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは?

### ▶認知症

「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は?

### ▶老衰

天寿を全うする「老衰死」。平穀な死を妨げるものは何か?

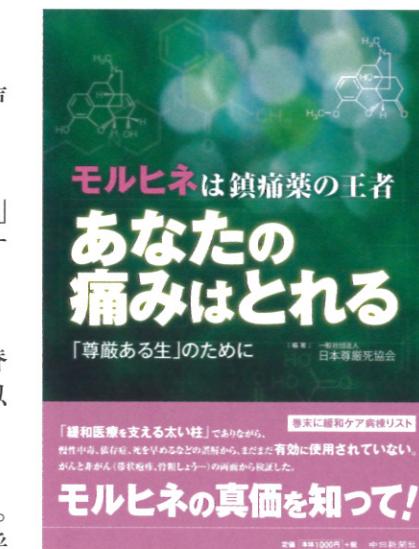
自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。



編著・発行 日本尊厳死協会  
発売 中日新聞社

新・私が決める尊厳死  
「不治かつ末期」の具体的提案

あなたの痛みはとれる  
モルヒネは鎮痛薬の王者



編著 日本尊厳死協会  
発行 中日新聞社

## 医療用麻薬のモルヒネ 適正使用で「痛み」はとれる

### ◎激痛から解放された

「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」——モルヒネの投与で激痛から解放された患者の喜びの声です。

### ◎誤解されているモルヒネ

モルヒネの「中毒になり、死期を早める」「がん末期にしか使えない」といった誤解は、世界の医学界が否定しています。適正に使用すれば「鎮痛薬の王者」なのです。

### ◎がん以外の痛みにも効果

帯状疱疹後神経痛、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症による脊椎の圧迫骨折、バージャー病、閉そく性動脈硬化症など、がん以外の痛みにも効果があります。

### ◎専門医がアドバイス

執筆者の1人、加藤佳子医師は、「痛みは本人にしか分からない。我慢しないで、医師に『痛みを取ってください』と言いましょう」と呼びかけています。

お求めは協会事務局で

いずれも 1100円(税・送料込)。お名前、住所、購入希望本を明記のうえ、代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して  
協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に郵送してください。

# 超高齢社会を迎えて

# LW充実に決意を新た

理事長 岩尾 総一郎



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日本尊厳死協会は今年設立40年を迎えます。「尊厳死の宣言書」(リビング・ウイル+LW)の普及啓発活動を振り返り、今後10年に向かっての課題を述べさせていただきます。

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

日本尊厳死協会は今年設立40年を迎える、「尊厳死の宣言書」(リビング・ウイル+LW)の普及啓

発活動を振り返り、今後10年に向かっての課題を述べさせていただきます。

協会が発足した1976年は、自宅で亡くなる人と病院死亡者の割合が逆転した年です。元来、生老病死という出来事は、家庭や家族のいる生活空間で当たり前に起こっていたのです。現在は最期まで自宅で過ごしたいと希望しても、それが叶うと考えている人は三分の一に満たないと、厚生労働省の全国調査が示しています。

最近の人口動態統計では、死亡者数は2005年に出生数を上回って年々増加し、2015年は約130万人と予測されます。死

亡場所の割合(2014年)は、病院77・3%、老人施設7・8%、

自宅12・8%でした。病院死は2012年をピークに年々減少し、代わって2005年には2・8%にすぎなかつた老人施設での死亡が増えました。これは、昨年秋にNHKスペシャルでも取り上げられましたが、老人施設での看取りが世間に理解され、救急搬送されずに「老衰死」として対応されるようになってきたものと思われます。

## 10年後は高齢多死社会

さて、10年後の日本はどうのような社会になつているのでしょうか。各種統計調査は次のよう

推測をしています。  
高齢者人口が約3500万人とピークに達し、その5人に1人、700万人が認知症になると予測されています。高齢者世帯の3分の1が一人暮らしで、その数は680万世帯に。年間の全死亡者が約160万人に達し、うち高齢者が9割を占めます。

2025年の日本は「高齢多死社会」のなかにあるのです。

死が避けられないなら、最適の医療を受けながらも無用な延命措置を排除し、納得、満足のいく最期を迎える。そのためLWはあるのです。

## 有識者検討会で議論

協会が発行するLWは、本人の自律性に基づく終末期医療に備えた意思表明書として、社会的に高く評価されてきました。しかし、普及率は諸外国と比べて低く、加えて最近では、国民意識の変化や、いわゆる「終活」の広がりを背景に、いろいろな形式の意思表明書

が発行されています。そこで協会は一昨年から協会LWに関する有識者検討会を開き、一年かけて議論しました。

検討会の報告書は協会ホームページに掲載しました。協会LWは自己決定を基本とする自律性の高い、包括的内容の宣言書であり、現行の文言で適當であるとの結論でした。しかし、「複雑な社会事情に対応するためには実効性を高める工夫が必要」との意見をいたしました。

LWの新たな要件とは  
すなわち、一人住まいや認知症の高齢者が増えるこれからの社会の変化を視野に入れた新たなLWを考える時期に来ているということです。具体的には、次の必要性が考えられます。

① LWが自己決定で作成され、本人に意思があることを証明する第三者の署名

② LWについて本人意思が継続していることを確認するため、更

新手続きの方法  
③ LWの実効性を担保し医療提供側の協力を得るため、家族・親族の同意や了解  
④ LW作成後の認知症や病態変化による意思能力の衰退、消滅時に、本人の利益を最大限尊重する代理人の選任

LWは、自己決定の文化があるアメリカで始まつた国民運動です。1977年、カリフォルニア州自然死法成立以来、各州でLWに対する法定化が進み、それを補完する幾つかの連邦法が定められました。現在では「ACP」や「POLST」という新しい取り組みが広がっています。

## 求められる会員の覚悟

**ACP Advance Care Planning**

将来の意思決定能力低下に備え、自分の希望する治療、大切にしてきた価値観、自分に代わって意思を伝えてくれる人などの情報を、患者、家族、医療者が共有できる全体的なケアプランニング。

**POLST Physician Orders for Life Sustaining Treatment**

かかりつけ医から「生命維持治療に当たる」他の医師や看護師への指示書。「延命治療が必要になつたとき、まずこの指示に従つて下さい」とある。患者の作成した事前指示書が電子化、ネット化され、救急医療の場などでもより確実に生かされるシステム。

## 認知症、独居対応の欧州

ヨーロッパに目を転じますと、幾つかの国でLWを前提に独居高齢者や終末期の認知症患者に対応できる立法化がなされています。

イギリスでは、「知的能力評価法」(2005年)で、認知症などで判断能力を失つても、LWなど

会員の皆様には、自らが家族ら

協會設立40周年

写真で語る

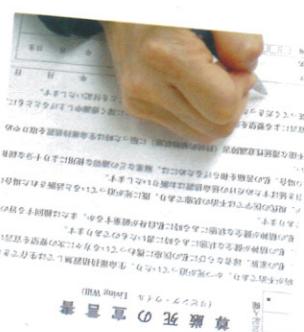
# 協会の歩み

私たち協会は1月20日、設立40周年を迎える。終末期医療にまだ関心が薄かった時代に、「患者本人の意思尊重」の灯を掲げ、歩んできた歳月は日本のリビングウイル運動の歴史そのものである。協会40年、時々のエポックを写真で振り返った。



## 設立総会

1983年



## 「宣言書」

東海大病院事件の衝撃 年2万人と会員急増 発展する礎が築かれた。

院で発覚(91年)。終末期医療の乏しい実態が連日大きく新聞・テレビで報道された。協会の知名度も一気にアップし、新入会者は91年に1万8千人、92年に2万人と続いた。横浜地裁で開かれた同事件の刑事裁判で、協会役員が尊厳死と安楽死の違いなどを証言した。

**200回数える研究会 協会が情報発信源に**

200回数える研究会 協会が情報発信源に

社会が揺れるなかでも会員の勉強会である「研究会」は開かれ、テーマは鎮痛医療、先進医療、海外法制、認知症と多岐にわたった。協会設立後から95年まで200回近く開かれ、その成果は協会会報や論集で発表された。90年、東京・学士会館で開かれた第76回研究会も盛況。

**自作劇で「延命」問う 支部活動のアイデア**

東海支部の春の集会で自作劇「私の命は誰のものか」が演じられた(99年)。難しい延命中止の問題点を戯曲でわかりやすく、医師、弁護士、主婦らの支部役員が総出で素人俳優になり、舞台に上がった。支部は全国9ブロックに順次整い、自主性とアイデアを生かした活動で会員増強活動を担つた。素人劇団では北海道支部の旭川懇話会「ピンコロ劇団」の活

60人が集まつた。世間の関心は薄く、新聞も1、2社が小さく報道しただけだった。それでも関係者の熱気は高く、設立総会の意氣軒昂ぶりがうかがえる。協会発足の3か月後、米国で「カレン嬢、尊厳死決」が出て日本でも大きなニュースになつた。自己決定という耳慣れない言葉も広まつたが、協会リビングウイル「生者の意志」登録者（会員）は1年間で200余人にとどまつた。

**反対運動で苦難数年**

**会員はひざ突合せ**

スタートして数年、会員数は思うように伸びなかつた。積極的安楽死を肯定する団体と受けとられ、逆風が強まつた。協会幹部が講演する京都大の学術シンポさえ中止に追い込まれる出来事も。こうしたなかでも会員は研究熱心で、ひざ突き合せて勉強会を開くなど（下の写真は79年）、地道な運動が続いた。

世界医師会が「尊厳死の新名称「尊厳死協会」発展の足掛かりに

権利容認」の里斯ボン宣言を出し（81年）、国内に「尊厳死」の考えが広まつてきた。協会に対する誤解を払しょくするため積極的安楽死を否定する新方針を打ち出し、83年「日本尊厳死協会」と名称を改めた。リビングウイルも新しく3項目の「尊厳死の宣言書」となり、運動が飛躍的に

A black and white photograph capturing a formal meeting or press conference taking place in a restaurant setting. A group of men in suits are seated around a large round table, which is covered with a white cloth and holds various items including glasses, plates, and what appears to be a small television set. One man, positioned at the head of the table, is speaking into a microphone held by a woman standing behind him. The room's atmosphere is formal, with traditional Chinese elements visible on the walls. In the bottom right corner, there is a vertical text overlay that reads '新华社' (Xinhua News Agency) in Chinese characters.

1979年



勉強会

The headline reads: 「死ぬ権利認めらる」 (Right to die acknowledged) and includes the subtext: 「朝日 同医師の「呼吸器止めてもよい」」 (Asahi Shimbun, physician's 'It's okay to stop the ventilator'). The article discusses a court decision in Miyazaki Prefecture that ruled in favor of a patient's request to withdraw life support.

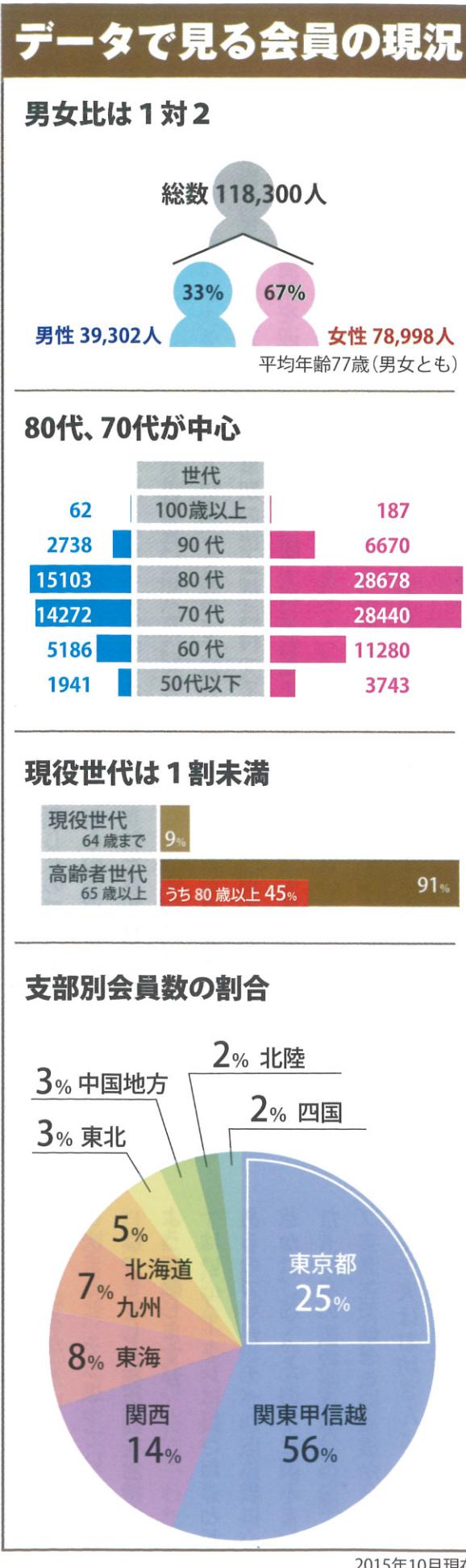
「尊嚴死」



自作劇で



研究熱心



国会審議に



世界会議 東京



医学教育に提言

授業でもっとLWを  
全国医科大に提言

リビングウイルを詳し  
く教える医科大学は全国

80校(当時)のうち16%ほどだった。協会は医学教育の現状調査をもとに「終末期医療に関する提言」をまとめ、2000年、文部省、厚生省に要請、全医科大学に送った。特に医学教育については「終末期医療を正規講座にし、予算措置、教員配置」と訴えた。

内外参加者、討論沸騰  
東京で「世界会議」開く

の第15回大会が04年10月、東京で開催された。海外11か国、17団体の代表を含め500人が参加。「尊厳死と認知症」「死を早める選択」など8つの分科会では、内外出席者の討論が沸騰して熱弁をふるう場面もみられた。  
**寂聴さん、墨衣で語り著述でも女性パワー發揮** 次大会で作家、瀬戸内寂聴さんが講演し、墨衣でユーモアあふれる話しぶりで会場をとりこにした。定員800人に3倍の応募があり、当日は別室のモニターで聴く人も。寂聴さんは会員歴が長く、尊厳死運動のために著述や講演で女性パワーを発揮した。

署名14万の熱い思い  
法制化運動の原点

04年、都内で開かれた年次大会で作家、瀬戸内寂聴さんが講演し、墨衣でユーモアあふれる話しぶりで会場をとりこにした。定員800人に3倍の応募があり、当日は別室のモニターで聴く人も。寂聴さんは会員歴が長く、尊厳死運動のために著述や講演で女性パワーを発揮した。



法人格



法制化へ署名



ひと役

木内みどりさんは、40代半ばで日本尊厳死協会の会員となり20年余。その思いを東京・六本木のオフィスで鈴木裕也副理事長がインタビューした。

65歳を迎えてますますお元気ですね。協会は今年設立40周年を迎えますが、会員の平均年齢は77歳です。高齢者が多いなかでは早い入会ですが、何かきっかけが。

父が病院内の事故で亡くなつたとき、病院や医療の恐ろしさを感じました。病院では死にたくないと思いました。10代のころから「いつも自分らしくいたい」という気持ちがすごくあって、自分の人生の最期の決定権は持っていたい、医療者の勝手にされたくないと思っていました。

誰かに勧められたのではなく、ご自分の意思でですか。

そうです。自分で尊厳死協会を探したのです。自分の人生は自分のもの、他人に依存したり踏み込まれたりしたくない「へそ曲がり」なんです(笑い)。

誰でも必ず死ぬ訳でその「死の時」は選べません。どんなにお金持ちでも権力者でも自由にはできない。いきなり訪れる「Xデー」に 対応する心構えは持っていたいと思つてきました。「自分なりに最期

はこうありたい」と決めておけば、「どう生きるか」ということも自ずと決まる、とそう思っています。

はつきりした死生観をお持ちのようになりますが。

はい、ブータンに行つたことがあるのですが、チベット仏教に心惹かれ、たくさんのお金持ちでも権力者でも自由にはできなかった。日本の仏教とは大いに違う。ブータンではどの家族からも一人や二人はお坊さんになるそうで、家族の希望で出された幼い少年僧も多く見かけます。

僧籍にある人は自分の物を持たない、自分の時間も持たない人生を選んだ人で、厳しい質素な生活を実践します。そういう姿があちこちに存在するから、いつの間にかどの人も世界は物質だけではないと感じます。

## INTERVIEW 木内みどりさん 女優

### その瞬間まで私らしく自分で探した尊厳死協会



#### やがて土へ還るよう灰は骨壺でなく木箱

「骨箱」を考えているのです。デザイン・サイズもだいたい決まり、試作品がそろそろ上がつてきます。骨壺は土に還らないけれど、骨箱ならやがて地に還りますから。その骨箱を埋める場所も決めました。誰も行かない山奥です。死んだらわたしのことなど、とつとと忘れてほしい。これが素直な希望です。

芸能生活は半世紀とうかがいました。この道へ進まれたのは。

わたしの「へそ曲がり」は小さいときからで、母はその辺を見抜いていたから、それを傷つけないように育ててくれたんだと、わたし自身も子どもを授かり育ててみて今ごろ気づくんです。「へそ曲がり」をお勧めします(笑い)。

ブータンでは誰かが死ぬとその瞬間から「その人らしかったもの」を捨てます。遺体の取り扱いも葬

て、「見て見て、あの人、具合が悪そうだよ。ほつといていいの?」と聞くんです。悩みを抱え、疲れ切つたように頭を垂れている人を見て、ドキドキするというのです。ほつておけないんですね。

ブータンでは誰かが死ぬとその瞬間から「その人らしかったもの」を捨てます。遺体の取り扱いも葬

儀の仕方も日本とは大いに異なるようです。四十九日後に転生するときまでに、それぞれの人生から解放されることが最も大切なのです。だから思い出写真などもビリビリ。火葬の後の灰も土と混ぜて土饅頭にして水車小屋に並べます。お墓なんです。この時期にブー

タンで感じたことと生来の「へそ

曲がり」が一気にまとまり、わたしの「生き方と死に方」がはつきりしていきました。

そうするとご家族とは…

夫(木内誠一氏)=元西武百貨店社長)も協会会員でここ一、二年人生の最期についてはしおりをつけています。お寺での葬儀は一切なし、戒名などもつてのほ

か。骨壺、あの白い磁器に入れられて針金でぐるぐる巻かれるのも拒否。

#### ブータンの死生観

ブータン人の友達がわたしの家に泊つたとき、こんなことがありました。一緒に電車に乗つてい

はこうありたい」と決めておけば、「どう生きるか」ということも自ずと決まる、とそう思っています。

はつきりした死生観をお持ちのようになりますが。

はこうありたい」と決めておけば、「どう生きるか」ということも自ずと決まる、とそう思っています。

はつきりした死生観をお持ちのようになりますが。

歳のとき登校をやめたんです。どうしたらよいか悩んでいたある日、新聞に「劇団四季」の文字を見つけて飛び込んでみました。人とうまくやれない自分でも、「劇団」という場所では生きていけるかも知れないと思いました。

木内さんというと、NHKテレビのドキュメンタリードラマ『巻子の言霊』(2012年放送)が思い浮かびます。交通事故で全身まひとなり、瞼しか動かせない巻子さん役を演じました。

このドラマは、2006年に事故で、寝たきりになつた巻子さんの夫で、看病を続けた富山の松尾幸郎さんが発信されたことがきっかけで、始まりました。経緯を知った作家・柳原三佳さんが本出版版、それを読んだ東北新社のプロデューサーがドラマ化したいと企画、NHKで実現しました。8年後、巻子さんが亡くなられ、松尾さんはお嬢さんの住む米国に引つ越されました。交通事故被害者の悔しい思い、終末期医療に対する法整備がない日本の状況を看病しながら世に訴える運動を続けられた。わたしの敬愛する日本人です。



終の棲家を米国に決めた松尾さんから「後はあなたが…」と言われました。託された責任を感じて、

## 「へそ曲がり」から言うと うかつ過ぎませんか

かけで始まりました。経緯を知った作家・柳原三佳さんが本を出版版、それを読んだ東北新社のプロデューサーがドラマ化したいと企画、NHKで実現しました。8年

フォーラムや集会で松尾さんが書かれた文章を読み、巻子さんが綴られた文章を朗読します。

### 「巻子の言霊」伝える やれば大きな力に

すると「事実」の重み、迫力が伝わり、シーンとした会場で嗚咽の声がもれ、ため息が聞こえる。皆さん、わが身に起きるかもしれないないと実感してくださるのです。でもね、この朗読会、続けたいのですが、こうしたお金にならない企画は誰かが発奮して動かなければ実現しません。難しいところです。数多くの出演作品には終末期医療がテーマの作品もありますね。

伊丹十三監督の『大病人』(1993年)という映画をご覧に

なったでしょうか？ 三国連太郎さんが演じた末期がん患者に病名も余命も告知しない医師・津川雅彦、この医師に逆らう看護師を演じました。20年前の力強い作品です。患者、家族と医師、看護師それとの関係は今もあまり変わっていないようです。

### 『大病人』で法制化 台湾看護師のガツツ

これは台湾でのお話です。女性看護師で大学教授の趙可式(チャオ・ケー・シー)さんが「大病人」(中国語版)を全国会議員に見せて、延命措置中止などの法整備の必要を説いて回ったそうです。死に逝く人が置かれたひどい状況を描き切っているこの映画を通して議論を重ね、ついに法制化(安寧緩和医療条例、2000年)が実現されました。画期的なことです。日本ではいつ、法制化できるか、人々の関心も薄く、どうしたらいいのでしょうか…

木内さんは3年前、黒柳徹子さ

## 真の豊かさ知る女性役 誇り高く演じました

んの「徹子の部屋」(テレビ朝日)に出演し、「還暦をすぎて、今後おばあさんになることを受け容れて」と話していますが、どうして、どうして。木内流エイジングを感じます。

脱原発集会で司会を頼まれればやるし、原発再稼働を聞かなければ「ノー」と答え、戦争に突入しないため自分にできることはしていくつもり。65歳で体力の衰えは感じますが、怒りのエネルギーはあるばかり。だつてそういうことばかり起きていますものね。

### 以前の女性の良さ 見つめなおしたい

でも、今一番やりたいと思つていることは、1966年以前の日



きうち・みどり 女優

1950年、愛知県生まれ。66年、

劇団四季に入団、TBS『安ベエの海』(69年)でドラマデビューし、多くの映画、舞台、テレビ番組に出演し活躍。「高齢社会を考える」テーマでラジオパーソナリティを続けるなど活動も多彩。

「自分にとつての真実、自分にとつての快適さ」を求めて、死ぬ瞬間まで自分自身でありたい。そう

经济的豊かさが幸せかというと、必ずしも…

わたし、「言葉のパフォーマンス」

なったであります。

構成 編集部・白井正夫  
写真・八重樫信之  
鈴木裕也・協会副理事長(医師、埼玉社会保険病院名譽院長)

# LW ひろば

デジカメの時代にスケッチは珍しいと皆様に喜ばれた。

人となるために生まれ、かすかに開けた目は、この世の眩しさにすぐ閉じる。ここはあなたのお国よ、よーこそマシユマロのような足に触れてみる。

みどり子よ目を開けこの世の明るさをここは汝の国サクラ咲いてる

マシユマロのような足に触れてみる。

みどり子よ目を開けこの世の明るさをここは汝の国サクラ咲いてる

## ● こんにちは赤ちゃん

**山田良子** 89歳 愛媛県

今日まで生かされてきた感謝にと平安24年の元旦、何かできるボランティアとして、神サマの啓示のように浮かんだのが新生児のスケッチだつた。私はスケッチが大好きで、その5年前に初めての曾孫が生まれた時、矢も楯もたまらず、生後13時間目の顔を描いたことがあつた。

内科医だった亡夫の友人、桑島恵一・松山赤十字病院名誉院長のお仲立ちで、産婦人科病棟に月2回、大安の日を選んで通い始めた。待ち人は赤ちゃん!この喜びは言葉にならない。

鉛筆で描き、水彩で色付けして1枚約30分。昨夏までに88枚を差し上げることができた!!写真(右が山田さん)。



● これも私の健康法です  
**磯野不二夫** 66歳 大阪府  
生まれ育った場所でもないこの土地で、独り者の退職後をどう送ろうかと考えたのは3年前。それが今では、知り合いがいっぱいでき、忙しいけど毎日、楽しくて仕方がない。

老人施設での傾聴ボランティアで洗濯の仕方やおかげの作り方を教えてもらっている。朗読ボランティアもしているが、市広報と小説では読み方が違う。リストナーとの交流会も楽しい。

調子に乗って?赤い羽根共同募金で街頭に立つた。生身の人間と向き合うと緊張するが、その緊張感がなんともい。調子に乗って?赤い羽根共同募金で街頭に立つた。生身の人間と向き合うと緊張するが、その緊張感がなんともい。

1週間の忙しいこと。週1日は今も講座、俳画のお稽古、整体などなど。

いちばん気を付けてるのは心身のリラックスです。夫が健在なときは2人で国内外の旅を楽しんでいましたが、1人になって8年余り。いまは1人で行動を起こすことです。

1日1回、仕事のうちだが、筆を持つ。そして、音楽を聞く。本格派コラスグループのDVDなどを楽しみます。年2、3回は上京してコンサートへ。ファンとの交流も生きる喜びです。

協会会員なので、やがてやつてくる

であろう病魔との闘いも安心して迎え

ることができます。同じく会員

だつた夫は、がんで「余命1年」と宣告

された後、理解ある医師から温かい心

新雪に遊ぶ 撮影・柴田えみ子さん(旭川市)



いい。他人と向き合うことで、自分は世間に必要とされていると感じる。これも健康法だと最近つくづく思う。

## ● 私の「超多忙」時間表

的場信江 81歳 広島市

朝5時、NHK「マイあさラジオ」のスイッチを入れる。ベットの上で手足のブラブラ運動、身仕舞してラジオ体操、それから私の1日が始まります。

1週間の忙しいこと。週1日は今も講座、俳画のお稽古、整体などなど。

いちばん気を付けてるのは心身のリラックスです。夫が健在なときは2人で国内外の旅を楽しんでいましたが、1人になって8年余り。いまは1人で行動を起こすことです。

1日1回、仕事のうちだが、筆を持つ。そして、音楽を聞く。本格派コラスグループのDVDなどを楽しみます。年2、3回は上京してコンサートへ。ファンとの交流も生きる喜びです。

協会会員なので、やがてやつてくる

であろう病魔との闘いも安心して迎え

ることができます。同じく会員

だつた夫は、がんで「余命1年」と宣告

された後、理解ある医師から温かい心

## ● 「主夫歴」19年のベテラン

**吉開靖之** 78歳 長崎県

両親を11年間、在宅で看取った後、一人暮らしになつたが、淋しくはない。ジティブな感覚で過ごすよう心掛けてまいりたいと思います。

うになった。今では主夫歴19年。食材を求めて調理するのが楽しみ。

△私は本を読むことしか能がないが、これがあつたため、辛い介護の中にあつても身と心が救われた。

△地元の新聞に投稿している。読んで「受信」するだけでなく、書いて「発信」する大切さを感じている。

△「認知症の人と家族の会」や「男性介護ネット」の会員として活動中。男性は一人暮らしになると自宅に閉じこもりがち。社会と接点を保つため、ボランティアとして積極的に出て行く。

もちろん体調の悪い時は不安になる。私は子供と話し、「尊厳死の宣言書」も渡している。隣人には心配をかけないよう毎月の行事予定や緊急連絡先

## ● 季節の移ろいを茶室で

**野崎田鶴子** 82歳 名古屋市

いづくにも母在ませども母を恋う幼な子のごと八十路の私は

97歳で逝つた母。遂に私にも順番がめぐってきた。夫が天に召されて30余年、永い永い独り暮らし。年々、体力の衰えを感じつつ、床の間には「縫色紙」秋のうたの軸を掛け、花入れには庭から手折つた秋草のとりどりを入れる。重いお盆を押し入れから引き下ろし、季節の移ろいを茶室のしつらえとして改める。茶道こそ体力の必要も渡している。隣人には心配をかけないよう毎月の行事予定や緊急連絡先

も渡している。隣人には心配をかけないよう毎月の行事予定や緊急連絡先

も渡している。隣人には心配をかけないよう毎月の行事予定や緊急連絡先

## ● 弟の死から1年たつて

**金子利代子** 51歳 静岡県

昨年1月、25年余り寝つきだつた弟を見取つた。病院から電話を受け、泣きながらペダルをこいだあの寒い日から、年が明けて1年である。

私が40代で終身会員になる決意ができたのも、弟の姿を見てきたから。弟

## ● 編集部より

### ○ 投稿の募集 テーマは「一人暮らしの知恵」か「私の入会動機」

800字以内で、採用に際して編集部で短くすることができます。

○ 写真の募集 4月号に相応しい春の風景写真。数年前の撮影も可。選者は日本写真家協会の八重櫻信之氏です。

いずれも締め切りは2月15日。協会事務局会報編集部まで。

13

# 病院を「卒業」して家に帰る

LW研究会東海地方会

第2回リビングウイル研究会東海地方会が昨年11月22日、「痛み、苦しみのない最期を求めて」をテーマに名古屋市内の愛知県医師会館に123人が参加して開かれた。写真。県医師会、名古屋市医師会の共催。中日新聞社後援。

主催者の青木仁子東海支部長は、「このテーマは全ての人の願いです。痛みをとるのは基本的個人権でモルヒネの適正使用が必要です。在宅での希望を叶えるには医療の制度を知ることも大切。医療者と患者予備軍の私たちが本音で議論しましょう」と呼びかけた。

基調講演「在宅ホスピスケアを目指して」を行った中島一光医師は、前国立長寿医療研究センター緩和ケア診療部長で、2014年に愛知県大府市に「いきいき在宅クリニック」を開設した。

「僕はよく『病院を卒業してい

らっしゃい』と言います」。治療が無力になつたら、病院を卒業して（退院して）、その人本来の生活の場（自宅）に戻ることの勧めだ。

中島さんは患者に考え方を切り替えるよう求め。「苦痛を和らげる医療とケアを提供します。そのため医療用麻薬を適切に使います（麻薬への誤解を解いてください）。延命治療はしません。苦痛緩和以外はできるだけ自然にいきましよう」と説明するという。

「痛みや苦しみを取り除き、日常生活の中で看取りを支えていく。それが在宅ホスピスケアです」

365日24時間対応する専門チームのいることが不可欠で、患者・家族は「家で死にたい」「家で看取りたい」というはつきりした意識を持つてほしいという。

続く体験発表で、肺がんの夫の希望を叶えて自宅で看取った松原

滋子さんが、「電話をすれば20分で来てくれる在宅支援診療所に出会いました。ありがたいことでした」と語った。中島さんの指摘する条件を満たしたケースだった。

村松鈴子さんは、51歳の娘さんが乳がんの肺転移で夜も眠れないひどい咳に苦しめられた。旧友の青木支部長から「モルヒネはひどい咳にも効く」と教えられ、使用しました。必死でした。そのか

れ、苦痛もほとんどなく、旅立つことができました」。

青木支部長から「モルヒネはひどい咳にも効く」と教えられ、使用しました。必死でした。そのか

れ、苦痛もほとんどなく、旅立つ

ことができました」。

青木支部長から「モルヒネはひどい咳にも効く」と教えられ、使用しました。必死でした。そのか

れ、苦痛もほとんどなく、旅立つ

ことができました」。</p



関西支部 ☎ 06-4866-6365

**第8回 サロン交流会**

1月30日(土) 午後1時半～3時半

テーマ 「両親の介護から考えること」

会場 支部事務所

(大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル702号)

定員15人 要予約 早めに支部まで

担当 浦嶋偉晃支部理事

中国地方支部 ☎ 082-244-2039

**第1回 日本リビングウイル研究会中国地方会 in 出雲**

シンポジウム 「終活と地域包括ケアについて考える」(仮題)

3月26日(土) 午後2時～4時

出雲市民会館 301会議室

申し込み(要予約) 定員100人、どなたでも可。

2月1日以降にメールまたはファクスで、氏名、電話番号、参加人数を支部までお知らせください。

FAX 082(244)2048

Eメール chugoku@songenshi-kyokai.com

共催(予定) 出雲医師会 出雲在宅ケア研究会

**出前講座を開きましょう!****出前講座とは**

支部理事が講師となり、用意していただいた場所に出向いて「リビング・ウイルとは何か」等をやさしく説明する、1時間半ほどのミニ勉強会です。

疑問や質問にもお答えします。非会員だけでなく、会員の皆様も理解を深める良い機会となります。

**「出前先」はこんな場所**

公民館や敬老会の催し、趣味の会、企業の勉強会など様々です。場所は問いませんが、会場費は負担していただきます。

**「出前先」をご紹介ください**

昨年度は全国で計117回開かれ、5000人が参加しました。仲間を増やしたいですね。お問い合わせは支部まで。



東海支部 ☎ 052-481-6501

**リビングウイル懇話会 in 静岡**

2月28日(日) 午後1時半～4時(受付1時から)

静岡音楽館AOI 7階ホール (JR静岡駅北口すぐ西) 定員300人

▶講演 「認知症と自己決定」

▶講師 青木仁子

協会副理事長・東海支部長

弁護士

▶講演 「すこやかに長生きできるために」

▶講師 永山正雄

国際医療福祉大学熱海病院副院長



北陸支部 ☎ 076-232-0900

**石川県地区懇談会**

1月30日(土) 午後1時半～3時半

金沢市文化ホール 3階会議室

テーマ 「終末期医療の実際」(仮題)

講師 喜多正樹支部理事

参加無料

**富山県地区懇談会**

3月19日(土) 午後1時～4時

富山県民会館 7階704号室

テーマ 「自宅で最期を迎えたい その条件は」

講師 喜多正樹支部理事

意見交換 金川琢雄支部長、富山県支部理事ら  
と 参加無料

四国支部 ☎ 089-993-6356

**徳島・公開講演会**

3月6日(日) 午後1時半～3時半

ふれあい健康館 1階ホール(徳島市)

豊田健二・徳島市医師会在宅医療連携委員長が  
在宅医療や自宅での看取りなどを語る。

無料 自由参加

**高知・会員懇談会**

3月13日(日) 午後1時半～3時半

近森病院管理棟 3階会議室(高知市)

テーマ 「人生の最終段階における医療につい  
て、ご家族と話し合っていますか～私達と考  
えてみましょう」パネリスト 北村龍彦(医師)、秋山保之(歯科医  
師)、田村裕(弁護士)、小松倫子(訪問看護ステー  
ション)、大久保千堯(宮司)

いずれも支部理事または支部・高知理事

**支部サロン「喫茶去だんだん」**

1月8日 新春お茶会

2月5日 私の入会理由

3月4日 終の棲家に望む事

いずれも支部事務所 1時半～3時半

**趣味あれこれ会**

1月15日、2月19日、3月18日

いずれも支部事務所 1時半～3時半  
百人一首や絵手紙などを一緒に

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
健生黒石診療所	内科、小児科	坂戸 廉一郎	青森県黒石市ちとせ3-6	0172-53-3015
訪問クリニックちから	内科	柳町 栄司	宮城県仙台市青葉区二日町18-26-4階	022-266-9070
宏友会 上田診療所	胃腸科、外科	矢島 恭一	山形県酒田市上野曾根字上中割73	0234-27-3306
上松川診療所	内科	春日 良之	福島県福島市北沢又字番匠田5	024-558-1111
白河在宅支援診療所	内科、泌尿器科	穂積 彰一	福島県白河市泉田池ノ上83-1	0248-22-5101
鈴木医院	内科、泌尿器科、緩和ケア科	鈴木 信行	福島県福島市八木田字神明149-1	024-545-0216
佐渡総合病院	小児科	岡崎 実	新潟県佐渡市千種161	0259-63-3121
フロジャク会 あすかクリニック	内科	武 千春	東京都中野区中野4-4-11-8階	03-5318-6617
はまかぜ会 ひなた在宅クリニック	内科、訪問診療	工藤 敏和	神奈川県横浜市港北区綱島西3-2-20-2階	045-717-6852
匠光会 深澤りつクリニック	内科、泌尿器科、呼吸器内科	深澤 立	神奈川県横浜市都筑区中川中央1-28-20-3F	045-914-6330
神奈川県立循環器呼吸器病センター	呼吸器内科	小松 茂	神奈川県横浜市金沢区富岡東6-16-1	045-701-9581
さいたま市立病院	泌尿器科	増田 賢	埼玉県さいたま市緑区三室2460	048-873-4111
ハンディクリニック	内科、外科、在宅医療	坂口 敏夫	栃木県小山市西城南6-3-9	0285-28-6777
藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム	外科、緩和医療科	都築 則正	三重県津市大鳥町424-1	059-252-1555
愛生会 山科病院	外科	荒金 英樹	京都府京都市山科区竹鼻四丁野町19-4	075-594-2323
俊幸会 中川外科胃腸科	外科、胃腸科、肛門科	中川 健二	広島県広島市東区東蟹屋町11-23	082-262-2231
清風会 日本原病院	内科、心療内科	豊田 英嗣	岡山県津市日本原352	0868-36-3311
古森病院	内科	黒目 恵子	福岡県福岡市博多区対馬小路9-13	092-291-3945
阿部医院	内科、小児科	古賀 光	福岡県福岡市中央区今川1-2-6	092-741-7295
にのさかクリニック	内科、消化器内科	二ノ坂 保喜	福岡県福岡市早良区野芥4-19-34	092-872-1136

## ▼勤務先変更

医師名(敬称略)	新医療施設名	診療科	施設所在地	電話	前勤務地
福田 稔治	志村病院	外科	茨城県水戸市泉町1-7-38	029-221-2181	茨城県

## ご寄付ありがとうございました(敬称略)

相沢寛・律子	4,000	故 倉田愛子	2,000	土屋 七男	2,000	【北海道支部扱い】	
赤塚 フミ	10,940	久 月	30,000	中村 かね子	10,000	安藤 幸子	1,000
秋和 敏雄	3,720	藏本 直美	2,000	中村 源子	70,000	梅 敏子	1,000
井内 治弥	7,800	小坂井 宇吉	6,000	西村 醇子	10,000	合田 文子	1,000
石井 孝子	51,023	小杉 芳子	2,800	畠中 ひろみ	4,542	佐藤 範子	1,000
伊藤 登志子	2,000	小谷 由紀子	2,000	原田 とよ子	2,000	沢口 栄子	1,000
伊藤 貴美	2,460	駒月 千嘉	7,800	東 和子	10,000	匿名	4,116
稻垣 章代	3,066	小山 晃	3,500	比留間 智恵子	50,000	匿名	1,000
岩松 きみ子	2,814	近藤 しづ子	1,300	廣田 榮	2,000	【関東甲信越支部扱い】	
内田 雅子	2,000	笹井幸一・明子	15,000	藤原 正雄	5,000	稻葉 八重子	13,000
江里口 トシ子	1,000	佐藤 修	5,000	船引 平八郎	1,000	中村 啓子	3,000
遠藤 澤子	1,000	佐藤 理子	3,480	松澤 信義	3,900	匿名	1,000
大田 重子	4,000	佐野 市義子	10,000	松尾 アケミ	3,100	【関西支部扱い】	
大野 節子	5,000	菅原 清	4,000	安田進・美恵子	1,000	大槻 正江	10,000
押切 英子	10,000	鈴木晴治・道子	2,000	山崎 キヌ	5,000	寺田 廣行	5,000
鹿野 秀雄	17,033	竹内 桂子	100,000	横関 米子	5,000	宮 清子	4,000
川満 ヨシ	5,000	田中 富美子	2,050	米澤輝道・逸子	12,961	【四国支部扱い】	
菅野 スミ	4,000	田中 邦弘	100,000	匿名	30,000	池田 京子	10,000
工藤 ミツエ	2,000	種田 一男	1,000	匿名	10,000	木村 和代	5,000
久保 紀子	2,000	築島 廣子	3,000	匿名	3,000	谷本 敏恵	10,000



王者 あなたの痛みはどれ」は昨年2月に発行以来、多数のご購読をいただいています。「痛み」に苦しむ会員やそのご家族が多いからに違ありません。

ところが最近、「痛みを取つてくれる医師が見つからない」という切実な声が聞かれるようになります。この問題を、本の編集長を務めた青木仁子協会副理事長(東海支部長)に聞きました(写真)。

がん患者さんの痛み取りはがん専門医担当ですから、病院医、在宅医の何れも容易に見つけられます。しかし、非がんの、帶状疱疹、腰痛、圧迫骨折等々の患者さんの「モルヒネで痛みをとつてくれる医者、病院を教えてほしい」という切実な願いに協会は対応できていません。応じていただける医師、病院の存在実態が分かつていいのです。

——何故少ないのでしょうか。

モルヒネに対する根強い誤解(医師も市民も)が原因です。医療用麻薬のモルヒネを覚醒剤と区別できない市民が沢山います。モル

——医療用麻薬モルヒネを「痛み」に少ないですか。

はい。こんなに深刻だとは思っていませんでした。

がん患者さんの痛みの相談です。掛かりつけ医のいる方には、「痛みが取れていない、痛みを取つてほしい」とはつきり告げましょう。但し、医師も人間なので、言葉には気を遣われた方がよいでしょう。しかし、医師も人間なので、言葉には気を遣われた方がよい

【北海道支部扱い】

【関東甲信越支部扱い】

【関西支部扱い】

【四国支部扱い】

【北海道支部扱い】

【関東甲信越支部扱い】

